

Interim Report

第79期 上半期 株主通信 2022.4.1 - 2022.9.30

2023年3月期 上半期のご報告



八洲電機株式会社

証券コード：3153

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第79期上半期(2022年4月1日から2022年9月30日まで)における営業の概況及び決算の内容等についてご報告申し上げます。

当上半期におけるわが国経済は、各種政策の効果により景気の持ち直しの動きがあったものの、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギーや原材料価格の高騰、急激な円安の進行による物価上昇圧力が強まり、企業収益や個人消費の回復に減速が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

そのような状況の中、当社は八洲ブランド確立による収益の拡大を目指し、「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術の強みを活かしたソリューションエンジニアリング力で付加価値の増大を図り、2020年度より取組んでいる中期経営計画の最終年度(2024年度)目標値「連結売上高700億円、連結経常利益35億円、経常利益率5%」の達成に向け、グループ会社との一層の連携強化と総力結集によるグループシナジーを發揮し、収益力向上と事業規模拡大を図ってまいります。

今後も、ニューノーマルへの移行やカーボンニュートラルに向けた取組みの加速等、当社を取巻く事業環境の大きな変化に迅速かつ的確に対応し、地球環境保全と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役会長兼社長

太田 明夫

経営理念

「信・愛・和」

信は、「社会に信用・信頼される会社」

愛は、「社会に奉仕する会社」

和は、「社会に協力・協調する会社」を表します。

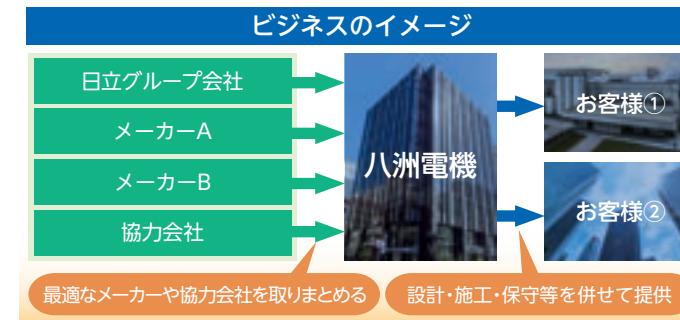
経営ビジョン

クオリティの高いサービスを通じ
お客様とともに価値を創造するベストプランナーとして
環境配慮型社会に貢献する

当社のビジネスのイメージと、エンジニアリング力を活かしたビジネススタイルについて紹介します。

当社はエンジニアリング会社として、お客様が工場や事務所等への設備の導入やリニューアルをする際、最適なシステムの構築を行い、設計・施工・保守等を併せて提供します。

最適なシステムをワンストップで提供し、環境・省エネ・高効率化等の多様なニーズにお応えします。



■ コア技術

「電機制御システム」「電源システム」「空調システム」の3つのコア技術を八洲ブランドとして確立し、「安全」「安心」等を社会に提供します。

さらに、コア技術を「技術ソリューション力」等で横断的に進化・融合し、最適なソリューションを提供します。

※詳細はP3へ



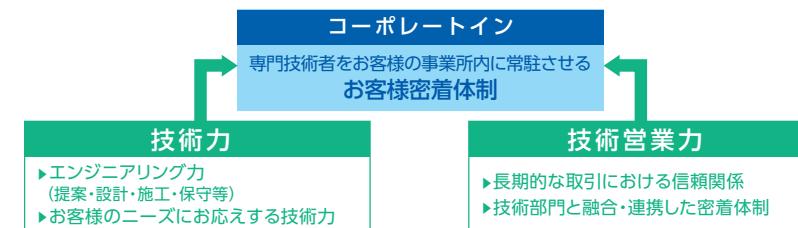
■ エンジニアリングフロー

製品を販売するだけでなく、コア技術とともに、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。



■ コーポレートイン

当社の専門技術者をお客様の事業所内に常駐させ、お客様の立場となって最適なソリューションを提供します。これにより、お客様のニーズや課題に対して迅速な対応を実現できます。



八洲電機グループは、八洲ブランドである3つのコア技術で「安心」と「安全」をソリューションで提供します。プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供し、『地球環境保全』と『持続可能な社会』の実現に貢献しております。

八洲電機グループは、鉄鋼・エネルギー・化学・医薬品・鉄道等の幅広い業界のお客様とお取引をしております。事業セグメントは、「プラント」「産業・設備」「交通」の3セグメントとし、より業界ごとのニーズに即したソリューションを提供してまいります。

※【セグメント変更】第79期(2022年4月)より、従来の「産業・交通事業」を「産業・設備事業」「交通事業」に変更しました。

電機制御システム

鉄鋼・石油・化学・エネルギー等様々な分野のプラント構築に最先端の技術でお応えします。

PLC[®]の活用に強みを持ち、製品自動搬送システム等で、鉄鋼・石油・化学・エネルギー等、様々な分野のプラントを構築し、提案型エンジニアリングで、生産性向上に貢献します。

ビジネスフィールド
鉄鋼・非鉄・石油・化学・エネルギー関連のプラントや、公共水道施設、一般産業分野 等

システム技術
PLCシステム、製品自動搬送システム、ドライブ装置、高圧ダイレクトインバータ、監視制御装置、計測制御システム、ポンプ設備 等 ※PLC：Programmable Logic Controllerの略、制御装置



電源システム

最適な電源ソリューションを提供し、電気の安定供給・省エネに貢献します。

受変電システム・非常用発電設備等で、電気の安定供給と省エネに貢献する最適な電源ソリューションを提供します。また、再生可能エネルギーで持続可能な社会の実現に貢献します。

ビジネスフィールド
化学・医薬品・紙パルプ関連の工場、鉄道施設、ビル・商業施設 等

システム技術
特高・高圧受変電設備、配電設備、自家発電設備、鉄道直流変電設備、無停電電源装置、再生可能エネルギー、電気通信設備、電力監視制御システム 等



空調システム

安全・安心・信頼の確保・推進により、クリーンで快適な環境をお届けします。

ビル・工場の一般空調システムから、データセンターや医療向けクリーンルーム等の特殊空調まで幅広く、プレエンジニアリング・設計・製作・施工・試運転・保守サービスを一貫して提供します。

ビジネスフィールド
病院・介護施設、大学・研究施設、工場、データセンター、鉄道施設、ビル・商業施設 等

システム技術
一般空調設備、冷蔵・冷凍室の低温設備、清浄度・温湿度・空圧を制御したバイオセーフティシステム等の特殊空調設備、冷熱源設備・圧縮空気設備 等



プラント事業

鉄鋼・エネルギー等のプラント分野にエンジニアリングで貢献

事業内容 鉄鋼・非鉄金属分野では各種電機制御システムの構築や、お客様のカーボンニュートラル実現に向けた環境配慮型製品、各種ソリューションを提供し、石油・化学・ガス分野では発電・受配電設備等から、電気計装、監視制御等に至るまで幅広いニーズにお応えしています。

主要取扱製品 電機制御、発電設備、電源設備、生産管理システム、省エネ・環境技術を活用したグリーン製品、これらに関わる保守・メンテナンス 等

売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
■ 上半期 ■ 通期	■ 上半期 ■ 通期
第78期: 15,792	第78期: 1,064
第79期: 7,154	第79期: 231
第79期: 4,902	第79期: 212

産業・設備事業

化学・医薬品・紙パルプ・精密機器・建築・公共工事等の幅広い業界に貢献

事業内容 幅広い産業のお客様に、受変電設備、空圧設備、空調・冷熱設備等のユーティリティ設備、産業機器全般及び情報・環境製品・システム、業務用空調機やLED照明等を提供し、持続可能な社会の実現に貢献しています。

主要取扱製品 空調設備、照明設備、受変電システム、セキュリティシステム、これらに関わる保守・メンテナンス 等

売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
■ 上半期 ■ 通期	■ 上半期 ■ 通期
第78期: 30,945	第78期: 2,108
第79期: 13,813	第79期: 709
第79期: 12,786	第79期: 250

交通事業

鉄道の「安全」「安心」「快適」を支えるインフラの構築・整備に貢献

事業内容 鉄道の安全・安定輸送、サービスを支える車両や設備等の提供からアフターサービスまで幅広く対応するとともに、鉄道事業者が運営する各種事業(不動産・ホテル・流通・福祉等)に、設備機器、情報・環境製品等を提供しています。

主要取扱製品 車両及び車両電気品、車両改造、受変電システム、信号システム、駅設備、車両基地設備、情報システム、これらに関わる保守・メンテナンス 等

売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)
■ 上半期 ■ 通期	■ 上半期 ■ 通期
第78期: 13,300	第78期: 844
第79期: 3,539	第79期: 44
第79期: 3,108	第79期: △10

※第78期の売上高及び営業利益は、変更後のセグメント区分による数値を記載しております。

■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前 期	当上半期
	2022年3月31日現在	2022年9月30日現在
資産の部		
流動資産	39,071	32,322
固定資産	11,862	11,683
有形固定資産	8,614	8,431
無形固定資産	274	257
投資その他の資産	2,973	2,994
資産合計	50,934	44,005
負債の部		
流動負債	26,089	20,418
固定負債	1,799	1,563
負債合計	27,888	21,981
純資産の部		
株主資本	22,946	21,934
資本金	1,585	1,585
資本剰余金	1,051	1,053
利益剰余金	20,734	19,857
自己株式	△424	△562
その他の包括利益累計額	△103	△104
非支配株主持分	202	193
純資産合計	23,046	22,023
負債純資産合計	50,934	44,005

■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

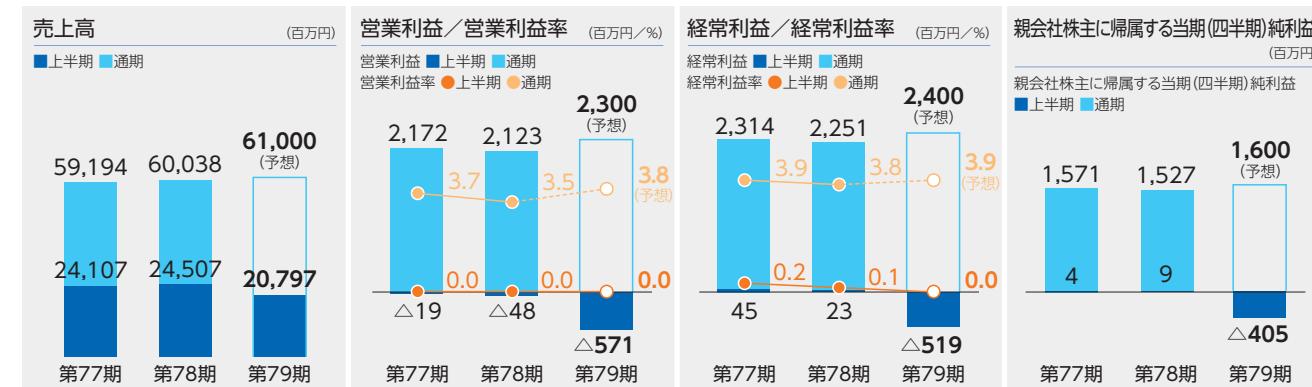
科 目	前上半期	当上半期
	自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
売上高	24,507	20,797
売上総利益	4,536	4,079
販売費及び一般管理費	4,584	4,651
営業損失(△)	△48	△571
営業外収益	73	55
営業外費用	2	3
経常利益又は経常損失(△)	23	△519
特別利益	97	52
特別損失	31	66
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	88	△533
法人税等合計	73	△125
四半期純利益又は四半期純損失(△)	15	△407
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	6	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9	△405

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前上半期	当上半期
	自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日	自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	△233	△99
投資活動による キャッシュ・フロー	△595	9
財務活動による キャッシュ・フロー	△242	△623
現金及び現金同等物の増減額	△1,070	△713
現金及び現金同等物の期首残高	9,904	10,567
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,833	9,854

■ 財務ハイライト

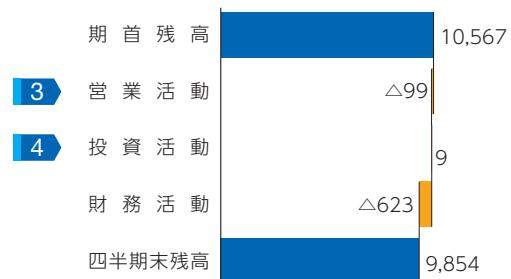


■ 資産の状況



■ キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)



ポイント解説

- 1 流動資産** 前期末に比べ67億49百万円減少。
(主な要因) 現金及び預金6億32百万円減少、受取手形、売掛金及び契約資産73億33百万円減少。
- 2 流動負債** 前期末に比べ56億71百万円減少。
(主な要因) 支払手形及び買掛金61億97百万円減少。
- 3 営業活動によるキャッシュ・フロー** 99百万円のマイナス(前年同期は2億33百万円のマイナス)。
(主な要因) マイナス要因として、仕入債務の減少額73億58百万円、未払金の減少額7億30百万円。
プラス要因として、売上債権の減少額97億57百万円。
- 4 投資活動によるキャッシュ・フロー** 9百万円のプラス(前年同期は5億95百万円のマイナス)。
(主な要因) マイナス要因として、無形固定資産の取得による支出43百万円。
プラス要因として、投資有価証券の売却及び償還による収入74百万円。

■ 連結経営指標の推移

(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期		2022年3月期		2023年3月期	
	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期	上半期	通期(予想)
受注高	39,998	71,389	29,761	56,358	34,246	65,851	32,382	—
売上高	29,923	70,190	24,107	59,194	24,507	60,038	20,797	61,000
経常利益	188	2,658	45	2,314	23	2,251	△519	2,400
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	88	1,394 ^(※)	4	1,571	9	1,527	△405	1,600
純資産額	19,739	20,924	20,324	21,969	21,644	23,046	22,023	—
総資産額	45,031	57,045	52,496	53,308	44,491	50,934	44,005	—
有利子負債	749	738	733	1,123	1,311	1,251	1,281	—
1株当たり純資産額(円)	897.27	951.29	933.41	1,021.38	1,005.02	1,070.92	1,029.90	—
1株当たり当期(四半期) 純利益(円)	4.11	64.61	0.21	73.22	0.44	71.63	△19.01	75.22
自己資本比率(%)	43.02	36.01	38.30	40.80	48.18	44.85	49.60	—
ROE(%)	—	6.93	—	7.43	—	6.85	—	—
ROA(%)	—	2.41	—	2.85	—	2.93	—	—
従業員数(人)	1,051	1,048	1,007	1,004	1,006	990	994	—

(※) 2020年3月期の親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益は、連結子会社の株式譲渡に伴う特別損失を含んでおります。

中期経営計画(2020～2024年度) 活動方針

当社グループは、2020～2024年度の事業運営の指針となる中期経営計画を策定し、下記のとおり取組んでおります。

事業環境の変化に迅速に対応し、更なる「事業規模拡大」と「収益力の向上」を実現するため、当社グループ一体で成長戦略を推進してまいります。

ビジョン

高度情報化時代に対応し、社会に貢献する「エンジニアリング会社」として、付加価値の高い技術・サービスを提供し、

お客様とともに未来を創る。

基本戦略

- ① 八洲独自の「エンジニアリング会社」の推進を図る。
- ② ビジネスパートナーの拡大及び新規商材を創出し事業規模の拡大を図る。
- ③ M&Aを実施しエンジニアリング力の強化及び事業規模の拡大安定を図る。
- ④ 八洲電機グループ力強化によるビジネスチャンスの拡大を図る。
- ⑤ ワークスタイル変革により生産性の向上を図る。
- ⑥ コンプライアンス及びCSR活動を推進する。

重点戦略

- ① 顧客戦略:顧客の投資に対しエンジニアリングで貢献し「収益の拡大」を図る。
- ② 地域戦略:顧客の戦略投資エリアの攻略をし「事業規模の拡大」を図る。
- ③ グループ戦略:総合エンジニアリングの創出による「収益の拡大」を図る。
- ④ コストマネジメント戦略:エンジニアリングを中心としたコスト最適化による「収益の拡大」を図る。
- ⑤ ● 営業戦略:新たな販売・製品パートナー創出による「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。
● 技術戦略:コア技術を時代の変化に適応・成長させ「事業領域の拡大」と「収益の拡大」を図る。

目標値 2024年度(2025年3月期)

連結売上高 **700億円**、連結経常利益 **35億円**、経常利益率 **5.0%**

株主還元(配当・優待) (2022年9月30日 現在)

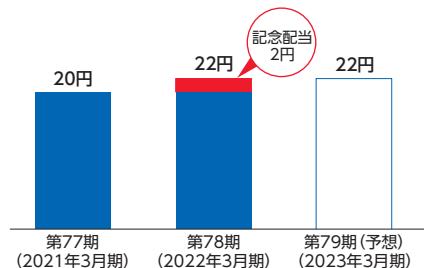
Shareholder Return

株主還元

株主の皆様からのご支援に感謝し、投資魅力を高め、株式を長期間保有していただくため、配当と株主優待制度を実施しております。

配当について

- 権利確定日: 毎年3月末
- 配当金額: 1株当たり22円(2023年3月期予想)



株主優待制度について

- 対象となる株主様: 毎年9月末日現在の当社株主名簿に記載又は記録された1単元(100株)以上保有されている株主様
- 優待内容:
 - 保有株式数と継続保有期間によって「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」を贈呈します。
 - 継続保有期間の起算日を2019年9月末(基準日)とします。
 - 継続保有期間の9月末日及び3月末日の株主名簿に、同一株主番号で、各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して記載又は記録されていることを条件とします。
- 贈呈時期: 毎年11月下旬頃の発送を予定しております。

「全国共通お食事券／東日本復興支援ジェフグルメカード」			
保有株式数区分	継続保有期間*		
	1年未満	1年以上3年未満	3年以上
1,000株以上	5,000円分	6,000円分	7,000円分
200株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分	3,000円分
100株以上 200株未満	500円分	1,000円分	1,000円分

* 継続保有期間1年以上とは、同一株主番号で9月末日及び3月末日の株主名簿に各保有株式数区分以上の株式を保有していることが連続して3回以上記載又は記録されていることとし、継続保有期間3年以上とは、連続して7回以上記載又は記録されていることとします。

株主メモ	● 上場取引所	東京証券取引所プライム市場	● 同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	● 証券コード	3153		東京都府中市日鋼町1-1
	● 事業年度	4月1日から翌年3月31日まで		電話 0120-232-711 (通話料無料)
	● 定時株主総会	毎年6月		郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
	● 基準日	3月31日及びあらかじめ公告する一定の日		三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
	● 公告方法	電子公告により行います。 公告掲載URL : https://www.yashimadenki.co.jp/ ※ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		(ご注意)
	● 1単元の株式数	100株		1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱いできませんのでご注意ください。
	● 株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社		2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
	● 特別口座の口座管理機関			

八洲電機株式会社

<https://www.yashimadenki.co.jp/>

〒105-8686 東京都港区新橋三丁目1番1号

TEL.03-3507-3711

